湖（うみ）から洋（うみ）へ、地域をつなぐ広報誌

さくら

Monthly publication magazine
SAKURA

臨時号

2021

JA福島さくら

組合員の皆さまの豊かなくらしのために

JA福島さくら
イメージキャラクター
さくらちゃん

Topics 1
農業所得増大のための取り組み

Topics 2
担い手からのご意見・要望に対するJAの対応

Topics 3
持続可能な農業経営に向けた取り組み

組合員の皆さまの豊かなくらしのために

農業所得の増大図

ＪＡ福島さくらは、組合員皆さまのより良いくらしのために、自己改革に取り組み、より多くの方に「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実感していただくことを目指しております。
その中で今回は、**「農業者の所得増大」**のための活動をご紹介します。

◆出向く体制の強化＆効果的な営農指導！

地域農業を支える担い手に対し、個別対応の体制を整備・強化し頼れるパートナーとして満足度向上に取り組んでいます。
令和3年度担い手支援担当者 39名、年間目標訪問件数 3,888件

◆生産コスト低減で所得増大へ

①担い手直送規格（超大型規格）農薬の提供により、地域の担い手、大規模農家の生産コスト低減を図ります。（面積換算：1,840ha コストダウン額：約820万円）
②近似成分肥料の集約を図り、安価で良質な商品の提供をしています。

◆GAPの取り組みについて

JAは食の安全・安心の確保のためにGAP取得に向けた取り組みを行っております。
GAP認証を取得することにより、効率的かつ安定的な生産につながります。
認証GAP取得件数 令和2年度実績 357件（H30年度 154件、R元年度 269件）

◆新型コロナウイルス感染症への経営対策

感染防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取り組みを総合的に支援しております。
経営継続補助金申請手続き支援（1次 289件、2次 385件　採択合計 572件　採択率 84.9%）
導入に対応した融資実績 36件　約7,800万円
※手続きの状況により金額の誤差が生じる可能性がございます。

担い手からの意見・要望に対するJAの対応

Q1 イノシシの被害発生が多くなっていますが対策はありますか。電気柵の購入を考えています。

A1 イノシシ被害については、管内で多く発生しています。行政等の補助事業を活用した電気柵設置やJA独自の農業生産振興助成事業（農家応援団事業等）もございますので、担い手支援担当者にご相談ください。良い対策等情報について、随時発信していきます。

Q2 農業研修で水稲苗出しや田植えを手伝ってもらって大変助かった。今後もこのような活動をしてほしい。

A2 今年度から職員研修の一環として、入組5年未満の職員を対象に組合員の圃場等において農作業を体験させて頂いております。農業に対する理解を深め、農家との接点づくりを目的としております。ご協力大変ありがとうございました。

Q3 労災・トラクター共済に関心があります。

A3 農作業中の重大事故の約3割がトラクターによるものです。管内においても昨年度農作業事故が多発しており、備えとして労災保険特別加入を推進しています。トラクター共済については共済の専任担当者が説明に伺いますのでぜひご検討ください。

Q4 他の地区で実施している栽培管理指導会の共有化をしてほしい。

A4 担い手支援担当者及び営農指導員の養成や組合員満足度の向上のためにも、指導会の内容や資料の情報共有を積極的に行なっていきます。

Q5 繁殖については知識が乏しい為、JAには技術支援・情報提供を含め支援してほしい。

A5 畜産課と連携しながら、研修・指導会等の情報提供に努めていきます。技術的な支援におきましてもサポートしてまいります。

Q6 米価の先行きがとても不安です。JAとしても米価安定に向け取り組んでほしい。

A6 今後の水田農業対策においては、需要に応じた米生産推進に取り組み、水田フル活用による需給調整により農業所得の維持・増大を目指しております。（水田活用米穀「飼料用」「備蓄米」「輸出米」等への取り組み）飼料用米の助成については、国や県に要望しておりますので、随時情報発信していきます。

Q7 ピーマンは作型によって生育状況が違う。特にハウスは大きく違うので、ハウスだけでも指導会を分けるのはどうですか。ピーマンの苗を大量購入する生産者に対しては単価を安くすることで面積拡大できるのでは。

A7 ご意見ありがとうございます。担当部署と協議をすすめ、実施について今後検討していきます。

Q8 自分の住んでいる地区は果樹が弱いと感じます。高単価の作物が少ないので何か案はありませんか。

A8 気候変動により温暖化が進み、農作物の品種開発や栽培等が高温対策として実施されています。以前は管内で作付できなかった農作物など視野を広げ情報を収集し、普及について検討を行ってまいります。

Q9 カメムシ防除が重労働である。どうしたら良いですか。

A9 カメムシ対策は全地区共通の課題であります。地域全体としての防除が効果的であるため、ドローンを活用した共同防除への取り組みを推進しております。

Q10 米の販売状況が悪いのでJAでも米の消費拡大に取り組んでほしい。

A10 JAでも管内の直売所において管内ブランド米の産地間交流販売を展開するなど様々なキャンペーンを実施しております。食育ソムリエ活動による「ごはんの日」においても、ごはんに合う自宅で簡単に作れるおかずレシピの紹介を行い、米の消費拡大に取り組んでいます。

Q11 JA総合ポイントカードは購入した飼料にもポイントが付きますか？

A11 JAポイントの付与については、配合飼料を基本とした付与を検討できるか担当部署に提案をいたしました。購買品については、肥料・農薬・衣料品などがポイント対象ですが、飼料についてもポイント対象として畜産農家へも幅広く還元できるよう検討していきます。

持続可能な農業経営に向けた取り組み

担い手のそれぞれの課題やニーズが複雑化しているなか、農業金融に関する各種相談対応から融資提案まで、これまで以上のサポートができるよう農業融資専任担当者を主体に、融資担当者、担い手支援担当者、営農指導員及びMAと連携を密にした支援活動を実践しております。

こんなお悩みはありませんか？

- 農機具を買い替えて作業効率を上げたい！
- ハウスを新設して生産量を増やしたい！
- 畜舎を増築して飼養頭数を増やしたい！
- 作業負担を減らすために最新設備を導入したい！

出向く体制を強化し、私たちが経営をサポートします！

担い手支援担当者（営農指導員）

- 目標達成のための行動計画の提案・支援を行います！
- 行政や関係機関等への連携も図ります！

MA（マネーアドバイザー）

- 金融に関するお悩み（貯金・ローン・税金等）を解決するための提案をします！

農業融資専任担当者

- 目的にあった制度資金やJAの各種農業資金を的確に把握し専門的にサポートします！

Let's Try! JA福島さくら 自己改革クイズ

JA福島さくらは、農業者の○○増大に取り組みます！

—上の○○に当てはまる文字を記入し、はがきでご応募ください。—

2021年9月30日(木)(必着)

正解者の中から抽選で5名様に秋の味覚をプレゼント！

応募方法

郵便はがきに、クイズの答え・臨時号へのご感想やご意見・住所・氏名・年齢・電話番号を記載の上、ご応募ください。

【宛先】〒963-8502（個別番号のため住所不要）JA福島さくら 企画部企画課「自己改革」係

※ご記入いただいた個人情報は、商品の発送にのみ使用いたします。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきますので、ご了承ください。

JA福島さくら

令和3年8月10日発行

福島さくら農業協同組合 編集事務局（企画部企画課）　〒963-8502 福島県郡山市朝日二丁目14-7
TEL.024-922-3733　FAX.024-923-8904　http://www.ja-fsakura.or.jp

JA福島さくらでは様々な形で情報を発信しています！

LINE　とれたって！ TORETATE